

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2016.01.No221

1月号

目次

平成31年全国大会北海道大会 に向けて……………	1
第58回建築士会全国大会報告……………	2
ブロック会報告……………	4
道士会の動き……………	5
青年・女性の窓……………	6
〔青年委員会〕	
支部だより……………	7
〔旭川・空知〕	
information……………	8

URL <http://www.h-ab.com/>



平成31年全国大会北海道大会に向けて

一般社団法人北海道建築士会 会長 高野 壽世

明けましておめでとうございます。皆様には、ご家族の方々と共に、すがすがしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。昨年、久々のオホーツク圏での開催となりました全道大会紋別大会につきましては、盛会のうちに終えることができました。これも紋別支部の皆様の団結力と周到な準備、そして、ご支援をいただいた道東ブロックのお陰と心から感謝申し上げます。今年、その紋別支部からバトンを受けた室蘭支部が、いま着々と全道大会の準備を進めているところであります。是非多くの皆様方が室蘭へ足を運んでくださいますようお願いいたします。

ご存知のとおり、全道大会は本会の4ブロックが持ち回りで開催支部を決定しております。同様に全国大会につきましても、全国7つのブロックの持ち回りとなっております。北海道ブロックは北海道建築士会のみで構成されているため、本来であれば7年毎に全国大会北海道大会を開催しなければなりません。他の6つのブロック、例えば東北ブロックは青森、岩手等6つの建築士会で構成されていますから、7年毎に東北ブロックに廻って来る全国大会を6建築士会で持ち回りできるわけです。つまり、他の建築士会は40～50年に一度、全国大会の当番となります。そのあたりを勘案してだと思いますが、北海道には、12～15年に1度全国大会が廻ってきております。今まで本会では、昭和32年と55年に札幌、平成5年旭川、そして平成19年帯広において全国大会を開催しております。

昨年は、北陸新幹線の開業で賑わう金沢市において、50年ぶりとなる石川大会が開催されました。今年は大分、その後は京都、埼玉、そして北海道の順番で全国大会の開催が決定をしております。今回の全国大会北海道大会は、東京オリンピックの前の年であり平成31年に開催することになっております。本会では、昨年、準備委員会を立ち上げ、まず

は各支部の意向を確認し開催地の調整をさせていただきました。その結果、函館支部から開催地として意思表示があり、式典等の施設や宿泊施設等々の確認を行い、理事会の審議を経て函館市での開催を決定いたしました。このことについては、平成27年度支部長、支部事務局長会議の際、同意を得たところであります。大会までまだ3年ありますが、平成30年の埼玉大会では北海道大会のアピールをしなければなりませんので、その時までには大会骨子の確定が必要となります。ですから、あと2年しかないとも言えます。今後、準備委員会から実行委員会への移行、全国大会特別会計について、3月の定時総会にお諮りする予定となっております。大会テーマをはじめ会員の皆様の意思を結集した北海道大会を目指し、精力的に準備を進めてまいりたいと考えております。会員の皆様のご協力を宜しくお願いする次第であります。

最後になりますが、日本建築士会連合会では、人材確保、技能低下、技術の伝承等の施工分野の課題への取組みの一環として、国土交通省から監理技術者講習の登録講習機関として登録をうけ、昨年から全国で講習を開始いたしました。土木と造園がメインの既往の講習機関の講習とは異なり、建築工事に特化したテキストによる、建築施工に従事する監理技術者に向けた、実務に役立つ内容の講習となっております。昨年、本会で2回開催した結果を踏まえ、今年は各支部での開催、場合によっては企業への出前も視野に入れ講習を実施してまいります。是非とも、多くの皆様が受講されますよう期待しているところであります。

本年も皆様と一緒に、会員増強、組織力の強化を見据え各種事業を進めてまいります。どうか、皆様のお力添えを重ねてお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご健勝とご多幸を祈念いたします。新年の挨拶とさせていただきます。



第58回建築士全国大会石川大会 新幹線開業に湧く 金沢の地で開催

(一社)北海道建築士会 副会長 吉木 隆 (札幌支部)

第58回建築士会全国大会石川大会が、加賀藩の歴史と文化を受け継ぐ地「金沢」で10月31日に開催されました。大会テーマ「百万石の地で触れよう 未来につなぐ まちづくり」を掲げ、3千8百人余りの建築士が全国から参集しました。3月に北陸新幹線が開業し、全国から観光客が大勢訪れ、街のいたる所で、人が溢れかえっていました。新幹線効果が街全体を盛り上げて活気に溢れていました。

会場は、セッション、記念講演、大会式典が金沢駅斜め向かいの石川県立音楽堂、大交流会がANAクラウンプラザホテル金沢、記念展示がもてなしドームの地下イベント広場と集中し、移動が少ない会場となっていました。華美にならず費用削減を宣した全国大会の記念講演、大会式典、大交流会の様を報告いたします。

【記念講演】



音楽堂2階邦楽ホールで開催された記念講演は、前金沢市長山出保氏が「伝統と文化のまちづくり」の演題で講演されました。金沢は、加賀藩の280年、明治維新以降150年、合わせて430年一度も戦火に遭ったことがない都市で、まちなかに伝統環境と伝統文化が残りました。講師の山出氏は5期20年金沢市長として、それらを保存・継承し、発展させるべき責任を負い、「保存と開発」、「伝統と革新」の命題に取り組んで来た事情と、金沢のまちづくり、文化と産業について話されました。

最後に谷口吉郎氏の言葉「美しい建物をつくるのも大事だが それ以上に大事なことは 美しい景観をつくることである」と結びました。

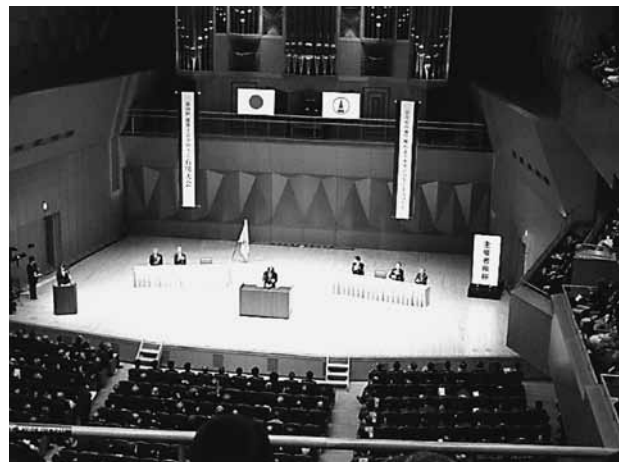
【大会式典】

式典会場の音楽堂コンサートホールは、ホール正面にパイプオルガンが設置された3階席までである会場です。参加者全員を収容しきれないので、邦楽ホールを第2会場として、式典映像を放映しました。

ホール壇上には、真ん中に国旗・士会旗、両脇にテーマと大会名の垂れ幕のシンプルな設営でした。

オープニングは、厳かなパイプオルガンの演奏から始まりました。開会宣言、国歌斉唱、綱領朗読、

主管県照田会長挨拶、主催者三井所会長挨拶、表彰式、来賓挨拶と式次第通り進行しました。3階席から見下ろす式典は、何時もと違う感覚でした。例年は各ブロック毎に席配置されて一緒に紹介されていましたが、今年は各士会長をブロック毎に紹介する方式となりました。何処に仲間が居るのか判らず残念でした。最後に次期開催地の大分県士会井上会長に大会旗が引き継がれ、式典は終了しました。



【大交流会】

会場を隣のANAクラウンプラザホテル金沢に移し、大交流会が開催されました。ウェルカムドリンクを手に、仲間と集い談笑し、開宴を待つこと数十分、オープニングアトラクションが始まり、東・西・主計町三茶屋の芸妓衆の伝統芸能「連獅子」演奏と日本舞踊「加賀風雅」が披露されました。乾杯の後は、郷土料理の屋台に長蛇の列ができる等、交流の輪が会場からホールまで溢れていました。年に一度



夜の金沢に練り出して行きました。

全国的に費用削減に努めた全国大会となっていました。3年後の函館での全国大会をどの様にするかは、今年発足する実行委員会で十分に検討されることでしょう。

のんびり気分に能登一周

情報委員会 副委員長 齋藤 勝哉 (旭川支部)



第58回建築士会全国大会「石川大会」へ参加してきました。大会の様子は吉木副会長の報告で紹介されていますので、少々無理に休みをとって長めの視察をしてきたことについて紹介したいと思います。

石川・金沢といえますと前田家を思い浮かべる方も多いと思います。大会の合間に前田家ゆかりの金沢城跡・兼六園を見してきました。さすがは日本三大名園に



最大級の平屋「本家上時国家」

挙げられている庭園。すばらしい庭でした。金沢城は、本丸こそありませんでしたが、再現された石川門をはじめ、特徴的な白漆喰海鼠壁・鉛瓦が非常に印象的でした。瓦はいざというときに鋳溶かして鉄砲玉にするということを思い出しました。

後半は、2泊3日で能登半島を一周。波打ち際を車で走れる「渚ドライブウェイ」を通り、「巖門」等の景勝地を回り、輪島泊。翌朝は輪島朝市から始まり「千枚田」「長浜式塩田」能登半島先端の「狼煙」等をめぐり和倉温泉泊。宿泊は超有名旅館「加賀屋」の隣。とてもサービスの行き届いた良い宿でした。3日目は「のとじま水族園」をゆっくり見学してから、富山県高岡市に入り、大規模修繕中の重要文化財「勝興寺」で工事見学をと思っていましたが、解説員不在とのことで叶いませんでした。

では、興味深かった建築物を2件紹介します。

輪島から東へ「本家上時国家」巨大な茅葺の民家です。建坪189坪、最高高さ11m超えの平屋！木造構造を業とする身としては泣きたくするような建物です。平家が源流となる豪商だったようで、象徴的な一尺五寸の大黒柱は構造的にはあまり意味のない位置にあるし…、使っているものは材料から装飾・調度品等全てがことごとく豪華な仕様で圧巻の一言でした。

次は、「石川県能登島ガラス美術館」こちらは一転して近未来的とも言えるような建物です。全く下調べもせずに行ってみたところ、建築家は釧路出身の毛綱毅曠氏による設計とのこと。なんだか親近感が沸きました。美術館内は撮影禁止でしたが、展示物ではなく建物の写真がとりたかった。RC造のお椀状の躯体に鋼管のドーナツが取り付けいて階層を形成しており、中央にあるエレベーターシャフト以外に柱のないというような構造をしていました。

ゆっくりのつもりがかなり駆け足になってしまい、能登半島の奥の深さを実感しました。文章ではイメージできません。百聞は一見にしかず。ぜひ行って見てきてくださることを切望いたします。



特徴的な「能登島ガラス美術館」

連合会長表彰を受賞して

石井 幸 (旭川支部)



第58回建築士会全国大会において全国からお集りの3000名以上の会員の皆様の前で連合会長表彰を受賞させていただき、大変光栄であり北海道建築士会高野会長・石川旭川支部長様始め多くの皆様のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

顧みますと、昭和50年に建築士となり建築士会に入会させていただいてから、40年が経過いたしました。受賞に当たり幾つかのことを思い出させていただきました。

まず、1993年に私たちの街旭川で開催された全国大会でございます。県庁所在地以外での初の大会であり、支部の仲間とともに全国・全道にPRに駆け回り、準備をいたしました。当時の建設大臣であり元旭川市長であった五十嵐広三氏のご列席と多くの市民とともに拝聴した余市町出身の宇宙飛行士毛利衛さんのご講演を懐かしく・楽しく思い出しました。

次に、1995年に発生した阪神・淡路大震災において参加いたしました応急危険度判定業務でございます。たいへん寒い中、何一つ被災者の皆様のお力になれず、悔しく、つらく悲しい思いをいたしました。旭川大会のPRをさせていただいた街並みがとても悲惨な状態となり市民の皆様のご苦勞は、大変なものであったろうと思いますが、今日見事に復興されていることは、街づくりに関わった多くの皆様のご

努力の賜物と考えます。

仕事関係といたしましては、旭川市内の小中学校をはじめ多くの公共施設の整備に関わる機会を得たことや平成8年からは、全国的に有名となった「旭山動物園」のリニューアルに仲間のみならず肩を携えて取り組めたことが何よりの思い出でございます。

最後に、30年近く前に訪れた金沢に、今回は、体調のすぐれない妻との思い出作りに再度訪れることができ、照田石川県建築士会会長様のお見送りでエクスカッションまで楽しむことができましたことも合わせてお礼申し上げます。

今は、高齢の父母の世話をする毎日ですが、今後建築士として、士会々員としてどのような形で何ができるかわかりませんが、自分のことだけはできる限り務めてまいりますと考えております。

本当にありがとうございます。



金沢駅前
もてなしドームにて

道央ブロック

第2回ブロック会報告

副会長 **鈴木 基伸** (札幌支部)



去る11月13日、本部事務局会議室において道央11支部のブロック会が開催されました。あいにく都合により欠席の2支部をのぞき、9支部の支部長と高野会長、鈴木専務理事にも出席頂き11名で昨年度最後の会議となりました。役員改選期の28年を翌年に控え、重要案件を処理する討議が行われました。

当ブロックからの会長、統括理事、理事の推薦及び各実行委員会委員の推薦が第一の議題で、実行委員会の人選の仕組みと理事の配分・役割等に丁寧な説明がなされ、多くの意見が集約されて決定しました。

次に全道・全国大会の開催地と大会のテーマ、実施の体制スケジュール等が議題となり、平成31年第62回全国大会（開催地函館）については準備委員会にて検討され大枠が決まった事柄について説明がされました。また、今年開催の第41回全道大会（室蘭大会）の大会テーマ、開催日時・場所などが報告されました。次に来年の42回大会は開催担当が当道央ブロックになることから、候補地の選考についてテーマ性のある有力な地域の支部長を中心に討議が行われました。いずれにしても今年度内決定にこぎ着けるべく話し合いを持つこととしました。その他、監理技術者講習の実施について要領と協力要請、会員増強の事例紹介がされ会議を終えました。当日は人気グループの札幌公演のとぼっちを受け、宿探しに翻弄された支部長さんには大変ご苦労さまでした。

道北ブロック

会議を終えて

統括理事 **石川 吉博** (旭川支部)



去る10月26日(月)に平成27年度第2回道北ブロック会議が名寄で遠藤支部長にご尽力いただき道北8支部全ての支部長が出席のもと開催することができました。

遠藤支部長をはじめご出席の各支部長には厚くお礼申し上げます。

今回のブロック会議は議題が盛りだくさんで、当日は高野会長にも大変お忙しい中ご出席をいただき、冒頭の挨拶から連合会を含めた当士会の状況について説明をいただきました。

会議では、今年度以降のブロック会の体制や本部実行委員会委員の推薦をはじめ今年の室蘭大会や3年後の全国大会（北海道大会）、景観整備機構、監理技術者講習会、会員増強について意見が交わされ、大変実り多い会議となりました。

特に監理技術者講習会の開催については、テキストや講習内容が建築に関連する内容に特化している点が評価できるとして多くの支部で開催したい旨の発言が相次ぎました。

会員増強については、各支部同様の課題とあって様々な提案がなされ、国、道の職員が少ない状況を改善すべきとの意見等があり、予定した時間内では議論が尽くせず懇親会の中でも再び議論されました。

年老いても皆さんまだまだ元気何よりでした。

道南ブロック

将来の建築士確保

統括理事 **山内 一男** (函館支部)



昨年10月3日苫小牧にて会議が開催され、28年全道大会室蘭大会開催において、道南ブロックは会場での人員数の支援と参加人数の要請に応えることを確認しました。また、総会報告後の全国大会北海道大会函館開催についても今後、テーマやアイデアなど道南ブロックの支援をお願いしました。

本部が北海道から景観整備機構の指定を受けたのを機に、各支部においても市町村が行政団体であれば、建築士会を指定してもらう機会を見つけて話をして欲しいことをお願いしました。景観整備機構の取組みが、士会会員が楽しく参加できるのか、若い人が働いて生活ができる取組みか、まちづくりの目標・施策があるのかなど、指定を受けた後の活動について議論されました。情報を共有する必要があることを確認しました。

会員増強について、将来の建築士確保の観点から、高校生の設計競技入賞者の全道大会での表彰や、支部活動での絵画コンクールや高校生の建築川柳などの入賞者も、開催支部の全道大会で表彰するなど、建築士を身近に感じて貰える機会になるのではないかと聞いたことが話し合われた。また、家族と一緒に活動する、参加する取組みを住民にアピールすること、巣箱つくりやマイ箸作り、親子ふれあい工作教室など、建築士を見てもらう切欠を多くすることも大事だとの意見も出されました。

道東ブロック

次年度に向けて

統括理事 **庵 敏幸** (北見支部)



10月9日道東ブロック会は北見支部担当により開催されました。当日JR石北線の事故により列車不通となり、高野会長が参加できず残念でしたが、10支部中9支部で十分濃い内容で協議がなされました。初めに紋別大会終了に伴い紋別高野支部長より大会が成功裏に終了した報告と、協力のお礼の話をされたのち、議事に入りました。特に今回は道東より本部理事2名及び総務・事業・情報・まちづくり・被災地の5実行委員の各1名推薦等の協議で、現在理事がオホーツク海側より選出の為、次期は太平洋側から1名とし、地域均衡を図ることとし、また、各委員会選出においても各支部の負担の均衡を目的に実施することを確認いたしました。景観整備機構の指定に伴い組織体制の位置づけと今後数多くの自治体が景観団体を目指していく予想からも、各支部と地域住民の係りに対応すべく学習の必要性等も含めて閉会しました。当日出席者から協議内容の濃度からして各支部1名に限定せず、支部長の他に各支部事務局局長等を増員した会議とし、情報の広域的共有と若い人への話し合いの場所も含めて、各支部2名の出席を望む意見が全員共通となり、今後予算化も含めてぜひ実行していくとの思いを一致したところでありました。一部の支部長においては、世代交代を望む声も上がったことも報告させていただきました。

北海道建築士会年間行事予定（予定）

1月	19日～27日 第49回建築基準法講習会	7月	13日 代議員選挙告示 予定 二級建築士学科試験 予定 一級・木造建築士学科試験
2月	2日～26日 第49回建築基準法講習会	8月	予定 二級建築士学科試験合格者発表
3月	11日 第1回理事会 25日 定時総会 25日 第2回理事会 26日 全道青年委員会連絡会議	9月	2日 第4回理事会 予定 代議員当選通知 予定 一級・木造建築士建築士学科試験合格発表 予定 二級建築士設計製図試験
	4月		予定 二級・木造建築士試験受付
5月	予定 一級建築士試験受付 予定 青年建築士の集い 20日 第3回理事会	10月	1日 第41回北海道建築士会全道大会(室蘭大会) 22日 第59回建築士会全国大会(大分大会) 予定 一級・木造建築士設計製図試験
	6月		4日 支部長・支部事務局長合同会議 18日～19日 青年委員会「建築士のお仕事体験イベント」

第6回 高校生の「建築甲子園」道予選

（公社）日本建築士会連合会主催の「建築甲子園」は、今年で6回目の開催になります。今年は1校3点の応募があり、審査会にて北海道留萌工業高等学校のタイトル「AYSP～空き家再生プロジェクト」を代表校に決定しました。全国選手権の結果は、12月頃決定予定。



平成27年度 第四期建築士定期講習受講案内

建築士事務所に所属する方で、平成24年度（平成24年4月～平成25年3月）に建築士定期講習を修了した方は、今年度が更新の受講年度となります。

開催地	開催地	開催地	開催地
釧路市	2月17日	北見市	2月26日
苫小牧市	3月3日	札幌市	3月16日

※受講案内、受講申込書の郵送も行っております。本部事務局（011-251-6076）までお問い合わせください。

平成27年度 応急危険度判定士認定講習会ご案内

・札幌市・稚内市の開催日が決定しました。

有効期間が来年度(平成29年3月末)までの方も、有効期間満了の前年度中から受講可能なので、早目の受講をお願いします。また、平成27年1月1日からの制度改正により、更新のために講習会を受講された方（平成27年までに受講済みの方も含む）は、その時点から更新申請が可能となり（更新すると、更新前から有効期間が5年延長されます）。

開催地	開催日	開催地	開催日
旭川市	1月22日	江差町	2月4日
苫小牧市	2月5日	稚内市	2月5日
札幌市	2月10日	釧路市	2月24日

平成28年専攻建築士登録申請のご案内

〈受付期間〉

平成28年1月5日～2月29日

〈申請書〉

北海道建築士会HPよりダウンロード下さい。

〈申込〉

申請手数料（審査手数料・登録料）の振込控えを申請書に添付して北海道建築士会へお申込みください。

※便利なWEB申請も行っております。（更新のみ）

専攻建築士更新対象者の方へは、更新申請についての案内を送付しております。該当の方で届いていない方は、本部事務局までご連絡ください。（011-251-6076）

青年委員会

全国建築士フォーラム ～地域実践活動発表会～ に参加して

道央ブロック長

石塚 尚也 (恵庭支部)

「やるからには金メダルを取りたいよね!」……まだ雪がドッサリと降り積もった2月、倶知安町の喫茶ボンボンでの会話です。

「青年建築士の集い」を倶知安町で開催するために立ち上げた道央ブロック実行委員会のメンバー10名がテーブルを囲んでいました。



喫茶ボンボンでの会議

ここ数年の通例として、毎年5月に開催する「青年建築士の集い」の内容を全国建築士フォーラムで発表することになっていたのです。

全国建築士フォーラムとは、全国大会の前日に開催される青年建築士の活動報告の場で全国各地7つのブロックの代表が、「魅力ある未来社会につなぐ地域実践活動」の発表をして、投票により最優秀賞・優秀賞が決定するというものです。

われらが北海道は「倶知安-Machi・Hito-プロジェクト」と題して立ち上げた、新幹線駅が出来るまでの倶知安町まちづくりサポートの活動を持って、いざ金沢へ!!

このポスターなかなか良いでしょ? パネルディスカッションを行った時の写真で、パネラーの中

心にいるのが今回発表を行った後志支部の傳法氏です。



俳優さんみたい?

さてフォーラム当日、全国各ブロック共、まちづくりや若者・子ども達についての活動発表が多く、とても完成度が高いなあ……というのが率直な感想でした。

というのも、まず活動の Spann が長い(継続事業とし成り立っている)、そして長く続けた活動の結果をカタチとしてしっかりと残して、世の中にアピールできているのです。

私たち北海道のプロジェクトはまだ始まったばかりで継続性という点においては、少し物足りなかったかもしれません。しかし裏を返せば、これからどのようにも広げられる……ということでもあると思うのです。8分間のプレゼンテーションが終了し、それぞれのブースに分かれて、グループディスカッションが行われます。そこでの意見や助言の中には、やはり将来性についての内容を多くいただきました。「これからドンドン頑張っ素敵な新幹線駅をつくってほしい」「これからもっと楽しくなりそうですね」等。



発表をする傳法氏



グループディスカッション

さて冒頭の「やるからには金メダルを……」の結果ですが……

残念ながら最優秀賞・優秀賞に選ばれることはありませんでした。う～ん残念。

ただ、活動発表について参加者に評価いただいた結果をまとめたバランスシート(プレゼン力・今後の期待度等、6項目について採点)では、なんと2位!! 終了後の居酒屋では、「2位ってことでイイよね。だねっ2位2位 笑」などと盛り上がっていました。



奨励賞を受取る傳法氏

今回私は、はじめて全国建築士フォーラムに参加しました。

正直に言うと気持ち的にガツンとやられました。全国で青年建築士がとても一生懸命頑張っているんだと思い知らされました。そして、参加して良かったと心から思いました。

今回刺激を受けた気持ちを忘れずに、地元での地域実践活動に力を入れていこう!! と決意を新たにしたところです。何年かのちに「〇年前に立ち上げたプロジェクトがこんな風になりましたよ」と第二弾の発表が出来ることを夢見て……

旭川支部 事務局近況

事務局長
宮原 進



御無沙汰をしておりました。

3年ぶりに再び事務局長を拝命しましたが支部会員並びに事務局員皆様に温かく迎えていただきまして心からお礼申し上げます。

本部の事務局の皆様には以前にもましてご迷惑をお掛けすることになるかと思いますがよろしくお願いたします。

就任から8ヶ月程経過しました

が以前にも増して疲労が残ることと忘れ物が多いことで周りに迷惑をおかけしていることで歳を感じさせられております。

当支部の運営については以前に在籍していた時期と比較しましても会員の減少が続き、財政的にも厳しさが増してきていることを実感させられております。

このような状況ではありますが当支部にも会員増強特別委員会が設置されところで会員を増やすだけではなく組織強化や会員の意識改革、更には建築士会の魅力づくりに少しずつでも歩を進めなければ

ならないと思っております。

一昨年、第39回全道大会（旭川大会）の開催を終えてひと段落の年ではありますが、建築士会としても監理技術者講習の実施などの新たな事業が予定されておりますので、事務事業の簡素合理化を図り、会員のための事務局が求められるあり方について工夫していく必要を強く感じる今日この頃であります。

今後ともよろしくお願いたします。

空知支部 (滝川分会) 全国大会 (石川大会) に参加して

常務理事兼事務局長
金子 守



10月30日 東京駅10:08分発
北陸新幹線（かがやき）に乗り金沢に向かう。

金沢駅 12:39分着 実に2時間30分で金沢に到着、約25年前に金沢市に来たことがあってその面影が全くない。JR金沢駅も改築され、兼六園口のシンボル（鼓門）が鮮やかに迎えてくれる。石川県建築士会のハッピーを着た多くの会員が会場案内をしている。人の流れも多いし駅舎の中は改札口以外は、お土産店・それも和菓子の店が多い（さすが、和の観光都市金沢）と感じたのは、私だけでは無いと思う。

さて、受付の石川県立音楽堂？ 駅のとなり5分で受付終了、その足で2階邦楽ホールで記念講演を聴講 15:00から開催される大会式典の2階コンサート

ホールに移動、吹き抜けのホールで音楽堂だけに、正面ステージ上部に大きな素晴らしいパイプオルガンが設置されています。定刻になり開会宣言のまえに、音楽堂内にパイプオルガンの演奏がはじまります。

ステージの上部ですから3階の高さで、女性演奏者が奏でています・過去全国大会に5回ぐらい参加しましたが、この様な形のオープニングで大会式典が開始されたのは初めてです。

式典が進み表彰式に(1) 功労者連合会会長表彰 (2) 伝統的技能者表彰 (3) 連合会賞（作品賞）表彰 (4) 実践活動表彰 部門別に多くの会員が表彰を受けました。

このたびの大会式典で一番印象に残ったのが、来賓で石川県知事による歓迎の祝辞のユニークな事、会場の笑いを一心に集め、自県をこよなく愛している姿が見られたことではないでしょうか。

次期開催県のアピール（大分県

建築士会）会長により、別府は、日本一の湧出量と世界に類をみないほどの温泉質の豊かさを誇ると自慢し、大会旗を引き継ぎ来年の夢をつなぎました。

17:00 ANAクラウンプラザホテル金沢で大交流会が開会されオープニング（金沢素囃子）金沢市無形文化財の指定を受けている金沢芸奴が三味線・笛・小鼓・太鼓・大太鼓などで、歌舞伎音楽である邦楽を基本としながら古典芸能として日本舞踊「加賀風雅」を披露しました。

以上で大会関係を終了し、次の日は金沢市内を観光させていただきました。

日本三名園「兼六園」「金沢城」「加賀友禅会館」「ひがし茶屋街」「長町武家屋敷」と観光しました。

このたびの全国大会で連合会会長表彰の事務手続きをしていただいた道建築士会会長を始め事務局の方々に感謝を申し上げ全国大会参加の感想といたします。

建築士会会員
みなさまの声
大募集

情報委員会では、ひろく皆様から、ご意見・ご要望（リクエスト）を募集いたします。「こんなこと知りたい」「わたしの主張」などなど……。よりよい紙面づくり、ホームページのために会員みなさまの声をお聞かせください！メール（urakami@h-ab.com）またはFAX（011-222-0924）、郵送でも受付いたします。

道士会の動き

道本部の主な会議報告（12月）

◆第4回理事会

〈開催日〉12月4日(金)

〈議案〉議題はすべて承認済み

- 1) 平成27年一般会計事業報告（10月末）及び収支決算見込について
- 2) 平成27年特別会計事業報告（10月末）及び収支決算見込について
- 3) 第40回全道大会（紋別大会）事業報告及び収支決算（案）について
- 4) 第41回全道大会（室蘭大会）事業計画及び収支予算（案）について
- 5) （一社）北海道建築士会個人情報管理規則（案）について
- 6) （一社）北海道建築士会特定個人情報の適正な取扱いに関する基本方針（案）について
- 7) （一社）北海道建築士会特定個人情報取扱規則（案）について
- 8) 北見支部の財政調整積立金の取崩（案）について
- 9) 全国大会積立資産の取崩（案）について
- 10) 平成28年全国大会特別会計事業計画及び収支予算（案）について
- 11) 平成28年一般会計事業計画及び収支予算（案）について
- 12) 平成28年特別会計事業計画及び収支予算（案）について
- 13) 定款第6条に基づく会員の入会承認（案）について

◆第3回情報委員会

〈開催日〉12月5日(土)

〈議案〉

- 1) 平成28年事業計画及び予算について
- 2) 「北海道建築士」スケジュールについて

◆第3回青年委員会WEB会議

〈開催日〉12月12日(土)

〈議案〉

- 1) 平成27年度事業報告
- 2) 平成28年度事業計画・予算について
- 3) その他（連絡会議・集い・サミットについて）

◆第3回女性委員会

〈開催日〉12月26日(土)

〈議案〉

- 1) 平成27年度事業報告
- 2) 平成28年度事業計画・予算について
- 3) その他

道本部の主な行事予定（1月）

- 19日～27日 第49回建築基準法講習会（札幌市他）

関係機関等会議出席状況（1月）

- 22日 日本建築士会連合会理事会
高野会長・石川統括理事出席
- 29日 全道確認円滑化対策連絡協議会（札幌）
高野会長出席

CPD認定プログラム(12月認定)

◆地震防災セミナー in 北見

《日程及び会場》平成28年1月26日(火)

13:30～16:00

北見市立中央図書館（北見市）

《単位数》 2単位

《問合せ先》 北見市建設指導課

平成28年 （一社）北海道建築士会会員作品の募集

みなさんの手がけた建築作品を広くアピールしてみませんか。応募作品のすべては、本会ホームページに掲載します。また、その中から4点程度を選考し9月発刊「北海道建築士No.229」に掲載します。多くの会員の応募をお待ちしています。

※応募要項など詳細は、3月発刊「北海道建築士No.223」に掲載します。また北海道建築士会HP (<http://www.h-ab.com/>) では、第1回～4回の作品も見ることができます。

建築士試験「設計製図」合格者（北海道）

	実受験者	合格者	合格率
一級建築士	208名	83名	39.9%
二級建築士	263名	130名	49.4%
木造建築士	2名	0名	0%

編集後記

明けましておめでとうございます。昨年は、前回同様に全道大会紋別大会の模様を号外として、発行することができました。第1回目の旭川大会号外発行の経験もあり、懇親会には十分間に合いました。室蘭大会でも引き続き号外を発行しますので、ぜひお楽しみに！

今回、実行委員が一部変わりました。早川陽子新委員長のもとで、情報委員会が一丸となって、読み応えのある紙面にしていきたいと思います。

常務理事 松崎 健児

情報委員会委員長／早川 陽子
副委員長／齋藤 勝哉・高松 徹・森 勝利
委員／熊谷 智・柳山美保子・鈴木 雅人
柏倉 昌憲

北海道建築士 No.221号

印刷 平成27年12月／発行 平成28年1月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011) 251-6076番
URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011) 811-7151番